

市の動き

(1月11日～2月10日)

1月15日(日)

悪霊などから身を守るといわれる「さいの神」行事が市内約20か所で実施される。

1月24日(火)

保育園の新規入園希望者の面接が中央公民館、市役所の各出張所などで行われる(29日まで)

1月26日(木)

市議会臨時会が開かれ、市の総合体育館建設工事の請負契約締結が議決される。

2月6日(月)

市は2月6日午後5時に雪害対策本部を設置。

積雪は2月7日現在で、1メートル49センチを記録し、ビニールハウス倒壊などの被害が発生。

除雪機械60台が稼動し、除雪費は予算を大幅に上回る状況。

2月7日(火)

総合体育館の地鎮祭が関係者約40人を集めて行われる。

2月10日(金)

市外の学識経験者による基本構想懇談会が、新潟市の白山会館で開かれる。これは、21世紀を目指した市の第三次総合計画策定のためのもので、出席者は新潟日報社監査役の長沼甲子男さんら5人。



ひとこと インタビュー



農家と農協のパイプ役

小林愛子さん(白新町二、三〇歳)

小林さんは岡方農協の指導課に籍を置き、生活指導員として、主に農村婦人を対象とした仕事をしています。

「生活指導員としての仕事は今年で三年目です。農家のお母さん方と一緒に、漬物のつけ方、ケーキの作り方、畑作の仕方などを勉強しています。独身の時には、主婦の立場がよくわからず戸惑ったこともありましたが、でも、窓口に来られた方から相談を持ちかけ

られたりするとうれしいですね。こんな仕事ですから、夜の出番が多いんですが、昼間に移行していくことが課題です。とかく農協離れが言われていますが、農家と農協のパイプ役として、少しでもお役に立ちたいと思っています」

表紙のことは



、栄町にある渡辺洋裁学院では、今も針供養をやっています。針供養は12月8日、1月8日、2月8日と地域によって違いますが、折れた針を豆腐にさして供養し、この日は婦人も針仕事を休む習わしだそうです。

編集室



▽ 二月二日、三日の両日、豊浦町で下越ブロック広報担当者の研修会が行われました。同じ仕事に携わる二十人余りの仲間と「広報とは」を語ってきました。

▽ 「広報はまちづくりのためにやるんです。そのためには住民参加がどうしても必要です」と講師。十分分かっていますがお知らせだけで精一杯、紙上討論などの企画ものはなかなかある出席者。とにかく、やる気と信念を持ってこれからも広報活動に努力、努力……